第22号
2016年10月

季刊 えこびと

来館者 20 万人達成記念セレモニーの様子（P5 に続く）

特 集 **木育キャラバン in eco-T ／ キッズタウン 2016**

エコなかま　　かんたんエコ手芸教室
　　もった博士のかがく倶楽部

写真で見る活動トピックス（2016 年７月～９月）

活動レポート

読んで得するエコネタ

エコびと紹介　樋口真明さん

事務局便り

Ｐ＆Ｐ特選句　７月　手を上げて躍る埴輪の眼の涼し（虹村）
　　８月　坪庭に迷子のやうに赤とんぼ（光州）
　　９月　底紅の少し恥じらふごとくあり（虹村）

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています

特　集

●レポート１

木育キャラバン in eco-T

７月２日（土）と３日（日）に木育キャラバン in eco-T を開催しました。木育は今年度のエコットの重点事業の１つでもあります。今回のイベントは NPO 法人グッド・トイ委員会、東京おもちゃ美術館、豊田市産業部森林課、根羽村森林組合、人と木をつなげるプロジェクトといった団体や、当日のボランティアスタッフなど、多くの人たちの支えにより実現することができました。全国で開催している木育キャラバンですが、豊田市内では初めての開催ということもあり、新聞やケーブルテレビも注目してくれました。

当日は、東京おもちゃ美術館の 300 種類の木のおもちゃや根羽杉のおもちゃを展示したり、箸やペンダントを作る木工ワークショップを行ったりと、子どもも、大人も、家族みんなで楽しめる内容となりました。２日間の来場者は合計 1,396 人でした。来場者の滞在時間も長く、充実した内容だったことが感じられます。

イベントは、東京おもちゃ美術館スタッフの進行で設営、実施を行いました。来場者に楽しんでもらうための工夫や演出、スタッフへの指示があり、事務局にとってもよい経験となりました。

（エコット事務局　住田雄佑）

（イベントの様子・大人気のたまごプール）

●レポート２

キッズタウン 2016

今年８月に開催された、エコットキッズタウン 2016 の報告会を 10 月 20 日（木）に行いました。最初に、開会式の様子や各セクションの動きなどを、スライドで振り返り、良かったことや反省点を話し合いました。

今年のキッズタウンは、４日間の開催で約 850 人の子ども達がエコットに来てくれました。今回は、キッズタウンの通貨（りん）を一旦リセットしたこと、他所でもキッズタウンを開催していることなどから、入場者が減少するのではないかと不安がありました。しかし、小学校や地域へのＰＲや評判が伝わったことで今年も毎日たくさんの子ども達がエコットに集まりました。保護者のみなさんへのアンケートでも、約 90%が、来年もぜひ参加させたいとの評価を頂きました。

エコットは来年 10 周年の節目を迎えます。『将来を担う子ども達に希望が育める社会』を体験できるキッズタウンにするために、今年の経験をしっかり総括して 10 周年につなげていきたいと思います。子ども実行委員についても、小学生中心の現状から、中学生や高校生など関わってくれる子どもの幅が広がると良いと考えています。10 周年のキッズタウンを成功させるため、皆さんのご協力をよろしくお願いします。

（理事　本田昭二）

（イベントの様子・税金を払う子ども達）

<――――――――――●エコなかま①
かんたんエコ手芸教室
――――――――――――――――――――――>

かんたんエコ手芸教室は、一般の参加者を募り行っている手芸講座です。各家庭にある不要になったものをリフォームした作品作りを行っています。例えば、ネクタイをネックレスにしたり、ビニールバンドをバスケットにしたりします。

もう捨ててしまうようなものを、また日常で使えるおしゃれなものに作り替えることで、ごみの減量やリデュースに楽しく取り組むことができます。

（古ネクタイから作ったネックレスとコサージュ）

初めて参加する人や手芸が苦手な人でも取り組めるように講師やスタッフがお手伝いしますので、ぜひ参加してみてください。和気あいあいとおしゃべりをしながら一緒に作品作りをしましょう。（エコット事務局　住田雄佑）

（バスケット作りの講座の様子）

<――――――――――●エコなかま②
もった博士のかがく倶楽部
――――――――――――――――――――――>

私たちは、講座の中で実験や物づくりなどを通して科学を学び、周りの環境や世の中のしくみを再発見すること、身近にある「なんでだろう？」や当たり前に使っているものを「かがく」の目でみて考えて体験することを大事にしています。

（ドライアイスを使ってアイスクリーム作り）

講座は 2 か月に 1 回開催しています。小学生以上を対象にした講座ですが、実験を中心とした講座なので付添いの保護者の方にも楽しく学びのある内容になっています。普段、なかなか学校や家でできない実験に、子ども達も目をキラキラ輝かせて参加してくれます。

今後は、次のような講座を開催します。ぜひ参加してください。（エコット事務局　杉山佐由紀）

・12 月 4 日（日）プラ板であそぼう！
・2 月 19 日（日）燃料電池自動車を走らせよう
・3月 26 日（日）にぼしの解剖

（電子レンジでの実験の様子）

写真で見る活動トピックス

2016年7月～9月

●ソーラーカー工作講座（7/17）

●大林子ども会出前講座（8/21）

●夏休み課題のポスターを描こう（7/29・7/30）

●来館者20万人達成へのメッセージ募集(8/21～)

●トヨタEX会・工作体験（8/7）

●北三河芸農祭出展（9/10）・積み木ひろば

●夏のクールシェア特別企画・ちびっこレールパーク（8/9～8/31）

●産業フェスタ出展（9/24・9/25）・新聞紙フリスビー

●レポート１――――――――――――――――――――>

地域づくりコーディネーター研修事業

<――――――――――――――――――――――――――――

地域づくりの担い手を育てるための研修事業を行いました。この事業は「平成 27 年度共働事業提案制度市民提案型事業」として採択された事業です。豊田市社会部地域支援課ととよたエコ人プロジェクトの共働で今年度実施をしました。

研修の内容としては、６月～８月に全３回の講座を実施しました。第１回目（レクチャー）と第３回目（まとめ）の講師は都留文化大学文学部社会学科教授の高田研氏です。経験豊かなフィールドワーカーとしての講義は興味深いものになりました。

第２回目のフィールドワークでは、下山３地区と稲武の全４地区を参加者が４グループに別れ、１日現地を歩き、地域の人に話を聞き、地域の問題・課題を洗い出しました。

まとめでは、その問題・課題を解決するための提案を考え、外から見た眼で新たな発見やアイディアから生まれた提案を発表しました。この研修では、現場に出て地域を観て、地域の人に話を聴き、そこで感じたことを大切にするべきだということを学びました。

今回の研修で終わりでなく、この研修から地域づくりのあり方を再考する機会とし、持続可能な地域づくりや人づくりが継続され、参加者が地域づくりコーディネーターとしての活動を継続して地域と関わることを願っています。

（理事　守随純子）

（フィールドワークの様子）

●レポート２――――――――――――――――――――>

来館者 20 万人達成記念セレモニー

<――――――――――――――――――――――――――――

平成 19 年６月に開館したエコットが、来館者 20 万人を越しました。

９月８日（木）には、市役所・インタープリター・一般来館者・事務局などエコットに関わる多くの人が集まり、記念のセレモニーを行いました。記念すべき 20 万人目の来館者はエコットに毎月のように遊びに来るご家族でした。紙ふぶきで迎え、豊田市環境部長からのお祝いの言葉、認定証や記念品の贈呈を行い、とても華やかなセレモニーになりました。

（20 万人目の来館者をお出迎え）

このセレモニーを節目としてまた新たな気持ちで来館者を迎えることができるでしょう。今後とも市民、行政、NPO の３者で協力をしながらより多くの来館者にエコライフの大切さに気付いてもらえるように進んでいきたいと思います。

（エコット事務局　住田雄佑）

（20 万人目の来館者に認定証を贈呈）

読んで得するエコねた

段ボールコンポスト

みなさんの家庭から出される「燃やすごみ」のうち生ごみはどのくらいの割合を占めていると思いますか？なんと！燃やすごみの約５割が生ごみです。さらに、そのうちの約８割が水分だと言われています。

生ごみの水分をよく切って出すことによって、生ごみの重量を約１割減にすることができます。１世帯あたり、年間約 20kｇ減量することができるのです。

豊田市では、生ごみを出すときは、「水分ひとしぼり」を実施することを推奨しています。

燃やすごみの約５割が生ごみ。

もっと生ごみを減らす事ができたら・・・単純に考えて燃やすごみの量も減らす事ができますよね。

そこで、今回エコットでは、家庭で気軽に取り組める生ごみ処理の方法を知る機会として、NPO法人リサイクルロンドぎふ事務局長、豊田利幸氏をお招きして、段ボールコンポスト講習を６月と10 月の２回にわたり開催しました。

参加者のみなさんも興味津々。質問が尽きないほどでした。

６月の講習開催後、エコット事務局でも段ボールコンポストを使って生ごみ処理にチャレンジしました。

方法はとても簡単

①段ボールコンポストの基材（ココピート・もみ殻くん炭）をよく混ぜる。
②貝がら以外の生ごみを投入する。
③翌日に良く混ぜて酸素を含ませる。

基本的にこの３つの作業だけで、基材のなかの微生物が働き、驚くほど見事に生ごみが分解されます！

心配するほど匂いも気になりませんし、何よりもほとんどの生ごみを入れても大丈夫。

そして、旅行など長期間取り組めなくても、自分のできるタイミングで再開すれば良いのです。処理された生ごみは堆肥化し、畑などに利用することができます。

私たちが、ごみとして出していた生ごみも資源になります。「燃やしてしまうのはもったいない。」そんな風に思うことができます。

私自身も家庭で段ボールコンポストにチャレンジ中です。気軽に挑戦でき、目に見えて変化がわかるので、とても楽しいですよ。

エコットでも少しばかり段ボールコンポストの基材を用意しています。興味の有る方は、エコット事務局までお問合せください。

（エコット事務局 杉山佐由紀）

（講習の様子）

（段ボールコンポストの中身）

（コンポストのたい肥化作業）

エコびと紹介

人と木をつなげるプロジェクト実行委員会
実行委員長　樋口　真明 さん

☆樋口真明（ひぐちまさあき）さんのプロフィール

1976 年愛知県春日井市に生まれ、妻と４人の子どもの６人家族です。野球と料理が趣味の元大工の材木屋で、現在は山から木を伐りだして加工し、こども園や小・中学校の建設に関わる木材コーディネーターとして企画と木材の流通を担当しています。

☆人と木をつなげるプロジェクトとは

お互いに顔の見える流通を構築し、豊田市産木材ブランド「hitotoki」（ヒトトキ）を設立しました。豊田市の森を知り、木に親しみ、そして流通をデザインします。すなわち、人と木をつなげる活動です。

☆豊田での活動

2015 年４月に有志の８名で実行委員会を設立。構成メンバーは、木に関わる職業で、１級建築士・デザイナー・木工家・大工・木材コーディネーター・フォトグラファー・カフェオーナーと多様な職種の方が関わっています。

現在では、森林組合・製材所・林業家・小学校教員も加わり、ひろがりを見せています。複数の団体や大学院・行政とも連携し、人と木がつながり始めています。

☆活動の具体的な内容

主に、木工のイベントで南米の打楽器「カホン」を作って、最後にみんなでセッションをして楽しむワークショップや外部から講師を招聘して講演会を一般向けに開催しています。また、豊田市産材木の利用法を広げる活動として「hitotoki」ブランドでは、木製品の開発をしています。全国的な見本市やコンペティションに参加して、豊田市での活動をアピールしています。おかげさまで、全国公募の「ウッドデザイン賞」を、２年連続で受賞することができました。

今年の新たな取り組みの一つに、人工林調査を始めました。これは、これから山を相続する可能性のある方を対象に、引き継ぐ山の価値を適性に評価をしていきます。

そのため、基準となる人工林を設定する必要があり、現在その場所の調査が進んでいます。立木の品質の評価ですので、ご希望の方は、ご一報くださいませ。

☆運営する上での課題

地域的な活動にするために、あらゆる職業の方との連携や業種ごとの専門性を担保していくことだと思います。一見潤沢に見える山の資源は、産業として成り立っていません。そのためにも多角的な視点が求められます。

☆人と木をつなげるプロジェクトの将来

ズバリ、活動から起業する方が出ることです。持続可能な活動と、社会的な要請の受け皿としても必要な事だと信じています。

☆あなたのエコな暮らし

山と都市部のつなぎ役として、子どもたちに山の魅力を伝える事ですね。なんにでも、ありがたいと思える心を子どもたちと一緒に育んでいきたいです。

☆最後に読者へのメッセージ

この活動は、永く続ける事に意味があります。流行ではなく、落ち着いて一歩ずつ進んでいける活動にしていきたいです。

（インタビュアー：理事　守随純子）

（カホンづくりワークショップ集合写真）

エコ人からのお知らせ

『楽しい＆エコ』なくらし、いっしょにはじめましょ♪

新しいスタッフの紹介

■高須かおる（9/25 入社）

このたび、縁あって９月末よりみなさんと一緒にお仕事させていただく事になりました。

最近では環境問題やエコ活動に対して意識をするようになりました。

『楽しい＆エコ』な暮らしができる様にまずは学び、実践して多くの皆さんにお伝え出来る様にがんばりますのでよろしくお願いいたします。

〔会費〕

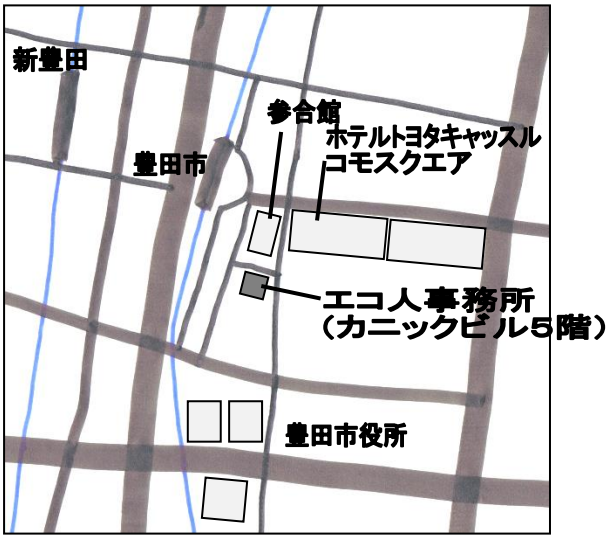
正会員	10,000 円（議決権あり）	
賛助会員	一　般	1,000 円／口
	学　生	500 円／口
	非営利団体	3,000 円／口
	営利団体	10,000 円／口

＊エコ人の年度は６月～５月です。

〔現在の会員数〕

正会員 21 人、賛助会員 47 人・３団体

〔エコ人プロジェクト事務所 MAP〕



エコットフォーラム 2016
「地球温暖化時代の到来」

エコットフォーラム 2016 を開催します。今回は地球温暖化の今に迫った内容になっています。詳しい内容、問合せ、申し込みはエコット事務局（TEL：0565-26-8058）までお願いします。

日時は 12 月 11 日（日）の 13：00～16：00 で、参加費は無料です。ぜひご参加ください。

編集後記

７月からは木育キャラバンやキッズタウンといった大きなイベントがあり、慌ただしく過ぎ去ったように感じます。いつの間にやら肌寒い季節が近づいてきました。みなさま体調を崩されないようにお気をつけください。さて、次はいよいよエコットフォーラムです。たくさんの方に参加してもらえるよう事務局スタッフ一同精いっぱいがんばります。（エコット事務局　住田雄佑）

発行・編集　NPO 法人 とよたエコ人（びと）プロジェクト

〒471-0025　愛知県豊田市西町 1-88 カニックビル５階

TEL：0565-50-5684　FAX：0565-50-5568

メール：info@t-ecobito.jp

ホームページ：http://t-ecobito.jp/

最新情報はホームページへ

とよたエコ人　検索